

令和2年度 第2回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日 時：令和2年7月15日（水） 15：00～16：30

場 所：小山市健康医療介護総合支援センター 検診室

出席者：塚田錦治委員長、佐田尚宏副委員長、浅野春美委員、高田純子委員、  
岸野康之委員、片山照美委員

【新小山市市民病院】

折笠清美看護部長、坂田普事務部長、石橋英俊事務副部長、島田守医事課長、  
関彰経理課長、経理課 神谷努主幹、阿部行博総務課長、石田陽介総務課係長

【事務局（保健福祉部健康増進課地域医療推進係）】

浅見貴幸保健福祉部長、室橋正枝健康増進課長、関口律子地域医療推進係長、  
鈴木香奈子主査

会議経過

1. 開会

発言者	内 容
2. 議事	
事務局	議事（1）令和元年度業務実績に関する評価について 【資料8、8-追加、10参照】 前回の会議で、市長評価に対する意見をいただけていないので、法人評価と市長評価に乖離のある項目について、ご意見をいただきたい。
	第1-1-（4）小児・周産期医療の充実について
委員長	法人評価3、市長評価4であるが、いかがか。
副委員長	確認だが、数値の具体的な基準を教えてください。
事務局	資料3を参照いただきたい。評価基準は5段階で 5…年度計画を大幅に上回って実施している。 4…年度計画を上回って実施している。 3…年度計画を順調に実施している。 2…年度計画を十分に実施できていない。 1…年度計画を大幅に下回っている。
副委員長	新小山市市民病院で周産期医療を行うのは困難となっている。そういう点からいうと小児医療をしっかりやっているのだから4でいいのではないか。
委員長	小児周産期に関しては、市民の方々が適齢期の方は、市民病院で出産をしたいという意見があり、そういったところで不満があるのだと思う。全体的にはすごくよくやっているが、周産期に関しては法人評価を尊重し、今後に向けて3でいいのではないか。
委員	市民の方は、ハイリスクではない正常分娩は市民病院でしたいと思う人が多い。法人評価と同様3でいいのではないか。
委員長	市民の観点と医療の観点では乖離があり、医療の観点からは、一般的なお産というのは地域でまかなえているが、自治医大や独協医大へ行く前の帝王切開など対応できる機能を市民病院へ求めている。しかしながら、市民としては市民病院ができたので、市民病院で安全にお産をしたいという意見が多い。今後はよりそういった乖離を埋めていくということで今のところは3とする。
	第1-1-（6）感染症について
委員長	法人評価が3、市長評価が4であるが、いかがか。

委員長	院長が仰っているのは、指定感染症として最初から想定してやったわけではないが、今回のコロナに関しては、別枠で色々作ってやらざるを得ない。院内には一切持ち込めない。今後、今回のコロナに限らず色々な場面で必要なことが増えてくるということで、法人の評価としては、そういったことを感じているのではないかと。課題は見えていると思うので、3とする。
	第1-1-(7) 予防医療の充実
委員長	法人評価3、市長評価4であるが、いかがか。
	これについては、人間ドック健診機能評価認定施設として検査件数を上げていることは、評価したいと思うが、3とした理由を事務局から伺いたい。
新小山市市民病院	予防医療観点に関しては、右肩上がりであるが、コロナの影響で、今後どうなるかわからないので、3とした。
委員長	目標に達していないというが、概ね到達しているということで4でいいのではないかと。
	第1-3-(5) ボランティア制度の活用、(6) 病院情報の発信
委員長	いずれも法人評価3、市長評価4であるが、いかがか。
委員長	順序が逆になるが、(6) 病院情報の発信について、最近是一般の方々からも病院の場所がわからないなどの問い合わせは少なくなっているようだがいかがか。
新小山市市民病院	病院情報の発信について、病院長と事務部長で行っているが、積極的に発信は行っているが、媒体等の工夫とか、今までの流れを踏襲しているので、新たな切り口を考えていく必要があると思われ、法人評価は3とした。
新小山市市民病院	付け加えると、今年は広報の評価を計画している。ラインやフェイスブックなどを活用していく形で、病院内でもGoogleを見られるようにするとか、技術的な部分で進められるよう努力をしているので、現時点では経過途中という形で3としている。 それと、ボランティアについては、個人的には中期計画の目標値が高いと思う。特に園芸ボランティアについては、広報などで募集しているがなかなか集められない。そこで今年は切り口を変えて、職員の中からボランティアを募集する方向性を考えており、現在で10名以上出ている。また、新しいボランティアの仕組みを考えていく。市民については新しい切り口でやっていきたいと思っているので、3とした。
委員長	目標値はすごく高いが、今後第3期についてはどう考えているか。
新小山市市民病院	今年の動向を見て考え直したいと思う。今後ボランティアを増やすといっても50人の乖離を埋めるのは難しい。
委員長	では、両項目とも3とする。
	第1-4-(1) 地域医療機関との連携
委員長	法人評価4、市長評価5であるが、いかがか。
委員長	共済の研修会とか、ZOOMを使ってWEBの研究会議などできる状況になっているし、そういう意味では、地域医療機関との連携というのは、すごくよくできていると思う。市長は医師会の会員から市民病院があるので助かっているという意見をよく聞くのではないかとと思うが、4ということで伸びしろを残していくほうがいいのではないかと。
	第2-1 管理運営体制の強化 2-2 働きやすい病院づくり (1) 人事考課制度の充実
委員長	いずれも法人評価3、市長評価4であるがいかがか。
委員長	両項目とも充分よくやっていると思うが、3というところの説明を事務局からお

	願いたい。
新小山市民病院	人事考課については、新しいことを取組み始めたところもあり、実際はもっと確実にやっていきたいと思い、法人としては3、それと反して、コーチングは4年目となっていて、これはだんだん板についてきたと思い、個人的には評価したいと思うが、総合的には3とした。
委員長	管理運営体制の評価という意味ではそうとう一生懸命やっておられ、効果も出ていると思うが、3でよいか。
委員	管理運営体制の評価というのは、現状だけではなく、今後運営していくなかで、経営の承継や持続的な経営の体制について、この項目で評価していく必要がある。地方独立行政法人は民間企業的なので、次はどういう体制でやっていくか一つ管理運営体制の強化というところも、頭の隅においていただきたい。
委員長	持続可能という言葉が出たが、産業医の世界でも、ある仕事をその人しかできないというのは好ましくない。そういったことについても考えていただきたい。まだまだ改善の余地があるとして3の評価とする。
	議事（2）中期目標期間見込み評価のまとめについて
事務局	【資料12】に委員の皆様からの評価・ご意見についてまとめた。評価委員会として、中項目毎にS～Dの評価をしてほしい。また評価をした理由等も意見交換していただきたい。また、全体評価についてもご意見いただきたい。
	第2-1 良質で安全な医療の提供
委員長	二人の委員がA評価。どうしても周産期の関係で、悩ましいが、計画を上回って進んでいることには賛成。これをBにしたのは法人としてはいかがか。
新小山市民病院	やはり周産期の問題。県の医師の確保の部分では小児医療のほうが、確保が難しいとされている中、土日も夜間やるようになったことで、評価に値するが、産科についても、色々と当たってはいるが、結果を出せていないことでBとした。
委員長	いずれ周産期に対する考え方も、皆さんで考え直さなければならない時期かと思う。法人評価どおり、Bとする。
	第2-2 医療提供体制の充実
委員長	私は大変お世話になっている立場なので最大限評価したくSとしたが、皆さんがA評価なので、A評価とする。
	第2-3 患者・住民サービスの向上
委員長	紹介した患者さんからも非常に良かったというご意見が多いので、A評価にしたが、皆さんがB評価なので、B評価とする。
	第2-4 地域医療連携の強化
副委員長	紹介・逆紹介率についても十分に達成されていて、地域の診療所等との連携と我々自治医大等三次医療機関との連携となる。それぞれの連携についても素晴らしいので個人的な意見としてはA。
委員	これくらいの基幹病院と地域の医師会、その他の有床診療所との連携が行われているのは、そうあまり聞かないので、この質を落とさないように継続して行ってほしいと思い、A評価は十分に値すると思う。
委員	地域連携に関しては新小山市民病院が中心となって皆さんが一致団結して、地域の医療を良くする。地域の病院を回っていると、地域を巻き込んで中心となる役割は果たしていると思います。ボランティアのこともあったので、Bにはしたが、A評価に変えたいと思う。このまま邁進していただければ、地域の方は助かる。
委員	私ども事務関係の人間から見ると、医療と介護の連携とか、相手の介護者がどう受け止めているかが見えなかった。それから、ゼロからのスタートから、紹介率・

	逆紹介率を高めて効率的にやっていく、自院に活かしていくための運営だったが、これからは二次医療機関の中心病院としてどうやっていくか課題があるということでBにした。
委員長	Bの意見もあるが、今回はA評価とする。
	第2-5 信頼性の確保
委員長	これは、A評価もあり意見を伺いたい。
委員	次の中期目標の時に、Bになってしまうが、何をするとAになるかを考えてAが揃うような評価委員会であってほしいと思う。
委員	病院機能評価を今年11月に受けると聞いているが、その準備は進められているか。
新小山市民病院	本当は時期がもっと早かったのだが、コロナの影響で延期になり、11月に行くことになった。
委員	是非頑張ってもらいたい。
委員長	皆さんの意見を踏まえBとする。
	第3-1 管理運営体制の強化
委員長	委員の皆さんの評価がBなので、Bとする。
	第3-2 働きやすい病院づくり
委員長	委員の皆さんの評価がBなので、Bとする。 とはいえ、十分にA評価になりうる項目かと思うので、継続してやってほしい。
	第4-1 経営基盤の維持と経営機能の強化
委員長	現時点では、コロナが無ければ十分いい評価に値するが、コロナの影響で、皆さんB評価としているが、ご意見を伺いたい。
委員	2019年度までをみるとAでいいかと思うが、今年は大変かと思いB評価とした。
委員長	皆さんの意見を踏まえ、Bとする。
	第4-2 収益の確保と費用の削減
委員長	皆さんの意見が一致しているのでBとする。
	第5 小山市地域医療推進基本計画に対する取組み
委員	地域に根差す病院ということ考えると、例えば、健診に関して、市民病院に集中しており、他の病院は空いている。今後、地域に根差す病院と考えると、数値や収益だけで見ていいか。紹介・逆紹介で地域の医療機関と連携が来ていると思うが、どんな時でも地域の病院と連携ができるようであれば市民にとって一番いいと思う。
委員長	評価としてはBとする。地域医療推進基本計画に書かれていることを具現化できるように、今後更なる推進をお願いしたい。
事務局	評価の確認【資料12参照】
	全体評価について
副委員長	同じような規模の病院の評価委員をやっているが、個人的には新小山市民病院のこれまでの取組み・成果は素晴らしいと思う。市民の方々にも、たぶん新小山市民病院は信頼されていると思う。自治医大にも小山市から3千人くらいの患者が来ている。新小山市民病院の数値が上がってきても自治医大への小山市からの患者は減っていないので、十分に機能分担できている。昨年度までに実績は素晴らしいが、今後コロナに対してどのように対応していくかが重要。 ほとんどすべての病院で患者が減っている。患者さんも今まで不要に受診していたわけではないので、その方々が受診を控えることにより、健康被害を受けない

	<p>ように広報活動をするのが重要。 自治医大は、下野市や JR と協力しながら、患者さんが病院を安心してかかれるようキャンペーンを計画している。</p>
委員	<p>ずっと黒字を継続しているということで、順調に計画を推進していると思う。今般の新型コロナウイルスで影響を受けていると思うが、市民病院が独立行政法人になる時にどのようないいことがあるかという説明で、機動性や柔軟性が発揮できると伺っている。この時期に是非、機動性や柔軟性を発揮してもらいたい。</p>
委員	<p>小児・周産期についてはどう評価するかは見直しをするべき。 また、今後病院の運営として、新小山市市民病院は、地域に知恵や何等かの支援をすることはあっても、資本基盤は蓄えている最中なので、あまり全てに応じすぎないことが必要だと思う。 病院の情報や災害対応にもつながると思うが、3. 11の時にちょうど小山市にいたが、その時にツイッターだけつながった。 発信することも重要だが、いざという時につながるか、災害対応という面でも考えてほしい。 働き方改革がコロナで加速しているが、国が言ったから変えるのではなく、先取りしてやっていただきたい。</p>
委員	<p>経営の面や、ボランティアについては他の病院にはない実績を残していてすばらしい。これだけの環境の病院はないが、更にもうやったら地域に根差した病院として地域中核病院としてやっていけるかを考えてほしい。 小山市の現状は、出生率が国や県が掲げている目標値より下回っているが、高齢者は増加傾向。65歳以上の方が、人口の4分の1になっている。このような状況を見据えて、地域に根差し生き残れる病院となるために努力していただきたい。</p>
委員	<p>小山市だけではなく、周辺の医療機関とも連携していただき、周辺の地域で困っている時に助けていただきたい。それができる実力があると思う。周辺の病院も期待しているのでよろしくお願ひしたい。</p>
委員長	<p>コロナに見舞われて、新小山市市民病院がやらなければならないことが浮き彫りになってきた。生活様式も変わってきているので、適応できるように体制づくりを今後続けていただきたい。</p>
	4 その他
事務局	<p>今後の進め方について。令和元年度の実績と中期目標期間見込み評価については、評価委員会の意見を案としてまとめる。意見（案）が出来たらメール等で送付する。確認いただき、意見等があれば、お返事いただきたい。市長への答申は8月5日に行う。本日見込み評価についてもまとめることができたので、7月29日の委員会は割愛したいがいかがか。→承認。 次回は9月2日（水）15時～開催。議事は第3期中期目標の審議となるので、よろしくお願ひしたい。</p>
委員長	<p>先程、副委員長が仰っていたが、我々のような診療所レベルでもコロナが怖いから病院にはかかりたくないという患者さんはいると思う。 自治医大だけでやるよりは、我々も一緒にやるといいと思う。是非工夫していただきたい。医師会でも伝えていこうと思う。</p>

4. 閉会

以上